

精神科領域の作業療法士に求められるアウトカムとマネジメント（宮城）
～実践で変える！精神科作業療法の未来～

■研修分類：重点課題研修	
■講座名：精神科領域の作業療法士に求められるアウトカムとマネジメント	
<input type="checkbox"/> 講義概要： 精神科作業療法の診療報酬改定に関する会員モニター調査では、実施時間、取扱人数、施設面積などに対する要件緩和と要望が常に多数寄せられている。これは患者の高齢化や身体合併症への対応、訪問や就労支援など地域移行のための対応といった“個別的関わり”のニーズの高まりによるところが大きく、集团的関わりを前提とした現行制度の限界を示したのもであるとも言える。病床、医療費削減のために地域生活支援を推し進める国の施策に見合った改定を実現させるには、個別性の高い実践とその成果の蓄積が欠かせない。病院内の寛解ではなく在宅での具体的生活変化をアウトカムとし、組織や病院経営、多職種連携のマネジメントも包括した会員のスキル向上による成果の醸成が求められる。また、それが全国で広く展開されるための仕組みやネットワーク作りも図っていく必要がある。 この研修ではこの構想に基づき、精神科領域の作業療法士が最短の道のりで実現に向け行動できるよう、具体的な実践例を中心にした講義とグループワークを実施する。	
<input type="checkbox"/> 対象者：日本作業療法士協会正会員	
<input type="checkbox"/> 日 程：2016年8月20日（土）13:00～17:30 2016年8月21日（日）9:00～15:30	
<input type="checkbox"/> 定 員：60名	
<input type="checkbox"/> 場 所：PARM-CITY131 貸会議室 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3丁目1-16	
<input type="checkbox"/> 参加費：8,000円	
<input type="checkbox"/> 講 師：制度対策部 保険対策委員会 精神科班 荻山和生（佛教大学） 嘉数栄司（沖縄リハビリテーション福祉学院） 朝倉起己（共和病院） 佐藤嘉孝（岡山県精神科医療センター） 宇田英幸（埼玉県立精神医療センター） 水野高昌（茨城県立医療大学） 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学） 米田 貢（金沢大学）	
<input type="checkbox"/> プログラム（予定）	
一日目：12:30～受付、13:00開始 ①13:00～14:00（60分） 作業療法士一人一人がアウトカムを示すことで診療報酬制度改定要望につながる ②14:00～14:30（30分） アウトカムを示すための方法論と役立つ管理運営の知恵 ③14:45～15:45（60分） 現行制度の中でも取り組める急性期・個別作業療法の実践と退院促進の意義および効果 ④16:00～17:00（60分） 児童思春期病棟・医療観察法病棟・薬物依存症に対する作業療法の実践 ⑤17:00～17:30（30分） 外来作業療法を拡大するための部門戦略と実践およびその効果	二日目：8:45～受付、9:00開始 ⑥9:00～11:00（120分） 地域移行・定着支援（地域生活を支える）に求められる作業療法士の役割。グループホーム・訪問看護での作業療法士による実践と課題 ⑦11:15～12:15（60分） 多職種間連携、記録・報告書作成、組織における作業療法部門運営の工夫 ⑧13:00～15:00（120分） グループワーク ⑨15:00～15:30（30分） まとめ・質疑応答 * 15:30 終了予定
* ナイトセミナーの予定あり	
<input type="checkbox"/> 備 考： 参加者との交流を深めることを主目的に肩肘張らない運営を心がけます。多数お誘い合わせの上お気軽に起こし下さい。	